

# 区市町村・地区医師会在宅療養担当者連絡会の開催について

## 目的

- 在宅療養に関して、区市町村の主体的な取り組みを推進するための支援を行う。
- 在宅療養の推進に関して、区市町村と地区医師会の在宅療養担当者において相互理解を一層深めるとともに、在宅療養に対する理解・知識の向上を図る。

## 内容

日時	【第1回】 平成26年6月24日（火曜日） 午後7時～午後9時	【第2回】 平成27年1月30日（金曜日） 午後1時30分～午後4時30分
企画・運営	公益社団法人東京都医師会	都
プログラム	<p><b>第一部 在宅療養推進に向けた都の取組について</b></p> <p>「在宅療養推進に向けた都の取組について」 東京都福祉保健局医療政策部地域医療担当課長 新倉 吉和</p> <p>「訪問看護ステーション・医療機関等との連携による在宅医療服薬支援事業について（案）」 東京都福祉保健局健康安全部薬務課長 野口 かほる</p> <p>「平成26年度東京都在宅療養研修事業」 「平成26年度東京都在宅医等相互支援体制構築事業」 公益社団法人東京都医師会理事 平川 博之 氏</p> <p><b>第二部 パネルディスカッション</b> テーマ「地域における在宅療養の推進に向けた取組について」 座長 地域福祉委員会委員長 新田 國夫 氏</p> <p>《パネリスト》 高木 智匡 氏 一般社団法人北多摩医師会（在宅医療相互研修事業の発表） 栄山 雪路 氏 一般社団法人町田市医師会（医療連携強化研修事業の発表） 滝口 明 氏 公益社団法人浅草医師会（在宅医等相互支援体制構築事業の発表） 矢澤 正人 氏 新宿区健康部参事（健康企画・歯科保健担当） 平川 博之 氏 公益社団法人東京都医師会理事 内藤 誠二 氏 公益社団法人東京都医師会理事 矢内 真理子 東京都福祉保健局医療改革推進担当部長</p>	<p><b>第一部 特別講演</b></p> <p>「地域包括ケアの展望 超高齢社会を生き抜くために」 岡山大学客員教授（元厚生労働省老健局長） 宮島 俊彦 氏</p> <p>「家で死ぬということ 住み慣れた地域で最期を迎えるために」 在宅療養支援診療所ケアタウン小平クリニック院長 山崎 章郎 氏</p> <p><b>第二部 都の事業説明</b></p> <p>「平成27年度在宅療養の推進に向けた都の取組」（予算案ベース） 「平成26年度在宅療養に関するアンケート結果について」 東京都福祉保健局医療政策部地域医療担当課長 新倉 吉和</p> <p><b>第三部 区市町村における在宅療養の取組事例の発表</b></p> <p>「稲城市における在宅医療・介護連携の取組」 稲城市福祉部高齢福祉課地域支援係 曾木 浩子 氏</p> <p><b>その他</b></p> <p>「在宅療養にかかる平成27年度事業実施予定に関するアンケートの実施について」</p>
参加者	141名（29区市町村:51名、36地区医師会:55名、その他35名）	141名（43区市町村:71名、38地区医師会:42名、その他28名）